

2013年度ルール改正（抜粋）

北関東連盟審判部

1. 公認野球規則改正点（抜粋）

- 1) 一、三塁線上を通過するゴロの打球はこれまでラインと外野側のベースの角との接点を通過しなければならなかったが、今後はベース上のどこか一点を通過すればフェアとなる。（巻頭第2図と8図）
- 2) 打者が打ったり、バントしたボールが反転して、まだバッターボックス内にいる打者の身体およびその所持するバットに触れたときも、打者がバットまたは身体と接触した位置に関係なく、ファウルボールである。（2・32【注一】） 下線の変更は片足が出ている場合はアウトになる。
旧：まだバッターボックスを離れない
- 3) セットポジションの軸足の位置
投手板の前縁に触れていれば、左右にはみ出しても良い。
- 4) 3. 0 5 (d)を追加する（2013年5月25日追加説明済み）
(d)すでに試合に出場している投手がインニングの初めにファウルラインを越えてしまえば、その投手は、第1打者がアウトになるかあるいは一塁に達するまで、投球する義務がある。
ただし、その打者に代打者が出た場合、またその投手が負傷または病気のために、投球が不可能になったと球審が認めた場合を除く。
- 5) 適用時期 1)～3)：理事長杯春季ゾーン大会から適用する。（3月3日から適用済み）
4) **：秋季学年別大会（9月1日）より適用開始**

2. 審判員について

- 1) 参加1リーグにつき、2名以上の審判員を派遣して下さい。
- 2) 集合時間（3試合の場合は8時、4試合の場合は7時30分）、グラウンドは抽選会の内容を確認願います。
- 3) 各審判員はチームとは別行動になりますので、ご配慮をお願いします。
- 4) 当日、不慮の事故等で集合時間に遅れる場合は、必ずグラウンド責任者に連絡をお願い致します。

以 上